

[短 報]

静岡県静岡市興津川水系で採集された静岡県初記録のシナノビル *Myxobdella sinanensis* Oka, 1925

佐々木彰央¹⁾

A new record of *Myxobdella sinanensis* Oka, 1925 in the Okitu River system, in Shizuoka Prefecture

Akio SASAKI¹⁾

はじめに

静岡県静岡市の河川でシナノビル *Myxobdella sinanensis* Oka, 1925 の幼体及び成体を採集した。これまで、静岡県内における本種の生息地と形態的特徴が記された正式な報告はなく、本報告が初の記録となる。

シナノビルは環形動物門 Annelida ヒル亜綱 Hirudinida 吻無蛭目 Arhynchobdellida ネンマクビル科 Praobdellidae のヒル類である (Phillips et al., 2010)。本種が属する *Myxobdella* はこれまでに 5 種類が記載されており、南アジア、東アジア、南アフリカ、中央アフリカに生息していることが報告されている (Nesemann and Sharma, 2001)。本種は現在知られている範囲で日本固有の種であり (Nesemann and Sharma, 2001), Oka (1925) により長野県から得られた標本に基づき記載された。

確認地点と方法

著者は静岡県静岡市清水区興津川支流布沢川の枝沢 (35°05' N, 138°25' E) 標高 430 m で本種の幼体と成体を確認した (図 1)。

本種を確認した布沢川の枝沢 (図 2) は河川幅

1m 未満、水深約 10 cm の小規模な沢。2013 年 7 月 15 日に成体、2013 年 9 月 8 日に幼体を採集した。生体時の幼体の写真を図 3 に示した。得られた標本は 10% 中性ホルマリンによって固定し保存した。計測と計数及び用語は中野 (2010) と長尾 (1967) に従った。計測にはノギスを使用した。同定は Oka (1925), 長尾 (1965), 長尾 (1967), 伊藤 (2003), Lai and Chen (2010) に基づいて行った。また、幼体と成体の 2 個体の標本は静岡県自然学習センターのその他の無脊椎動物 (SPMN) として登録申請中である。

標 本

シナノビル *Myxobdella sinanensis* Oka, 1925

成体

ホルマリン固定後の成体は体長 25.0 mm, 最大体幅 15.2 mm, 尾吸盤の横径 10.6 mm。体色は褐色。乳頭突起はみられなかった。体後部側面には耳状突起が認められなかった。体表には 102 本の体環が確認された (図 4)。腹側から体節を確認したところ、第 IX 体節から第 XXIII 体節の範囲で 1 体節 5 体環であることを確認した (図 5)。眼は皮膚に埋没した

¹⁾ NPO 法人静岡県自然史博物館ネットワーク辻事務所, 〒424-0878 静岡県静岡市清水区辻 4-4-7
Network for Shizuoka Prefecture Museum of Natural History, 4-4-7 Tsuji, Shimizu-ku, Shizuoka City,
Shizuoka 424-0878, Japan

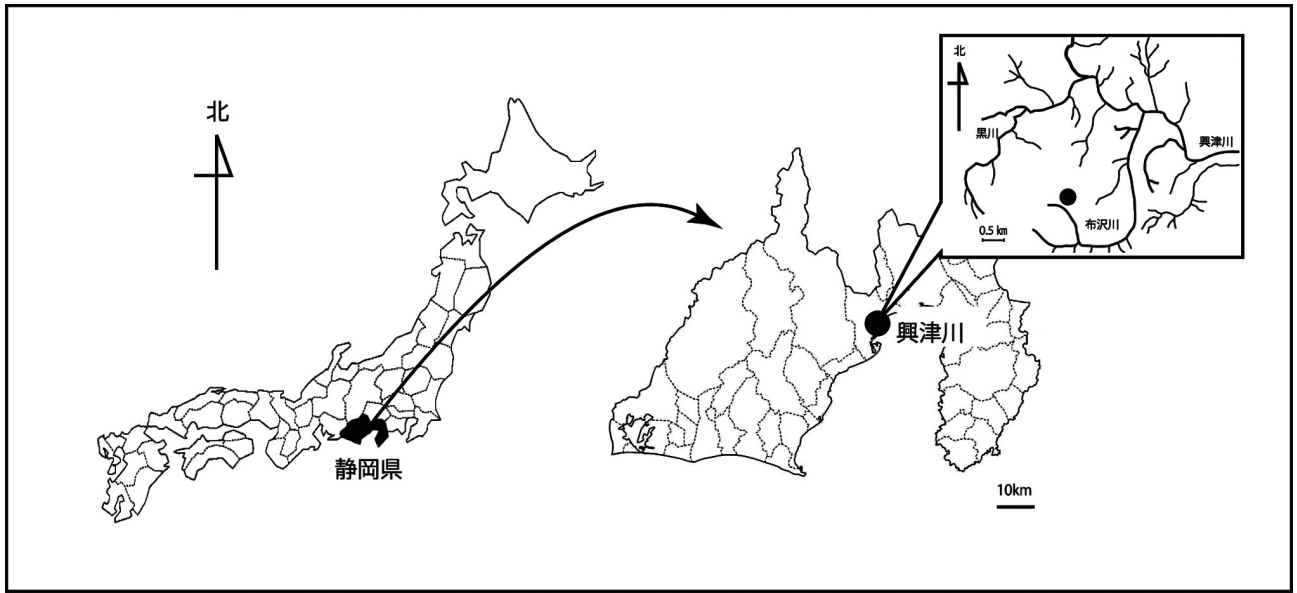


図1 シナノビルが確認された地点 (●は確認地点)



図2 シナノビルが確認された興津川水系布沢川上流部の様子



図3 水中を移動する幼体

状態でアーチ状に並び5対確認され、第Ⅱ，Ⅲ，Ⅳ，Ⅴ，Ⅵ体節上にみられた。また、第Ⅲ体節と第Ⅵ体節上の眼は近接していた(図6)。口吸盤は大きく、第Ⅰから第Ⅴ体節を占めていた。口の形状は逆Y字型。また、筋肉質の顎がみられた(図7)。頭部の幅は広く、雄性生殖孔は第Ⅻ体節にある第b5，b6体環の間に位置していた(図4)。雌性生殖孔は第Ⅻ体節にあるb5，b6体環の間に位置していた(図4)。肛門は尾吸盤の背面にあることを確認した(図4)。

幼体

ホルマリン固定後の幼体は体長10.1 mm，最大体幅2.5 mm，尾吸盤の横径2.4 mm。体色は乳白色で背面に線状の不連続の模様が5列認められ，中央の列はやや太かった(図4)。体節は尾吸盤を除いて第XXⅦ体節までを確認することができた。体環は未発達で第ⅩⅢ体節から第XXⅥ体節までの範囲でのみ確認された。眼はアーチ状に並び5対確認され，第Ⅱ，Ⅲ，Ⅳ，Ⅴ，Ⅵ体節上にみられた。また，第Ⅲ体節と第Ⅳ体節上の眼は近接していた(図6)。肛門は尾吸盤の背面にあることを確認した(図4)。

以上のことから本標本はOka(1925)，長尾(1965)，長尾(1973)のシナノビルの特徴と一致した。

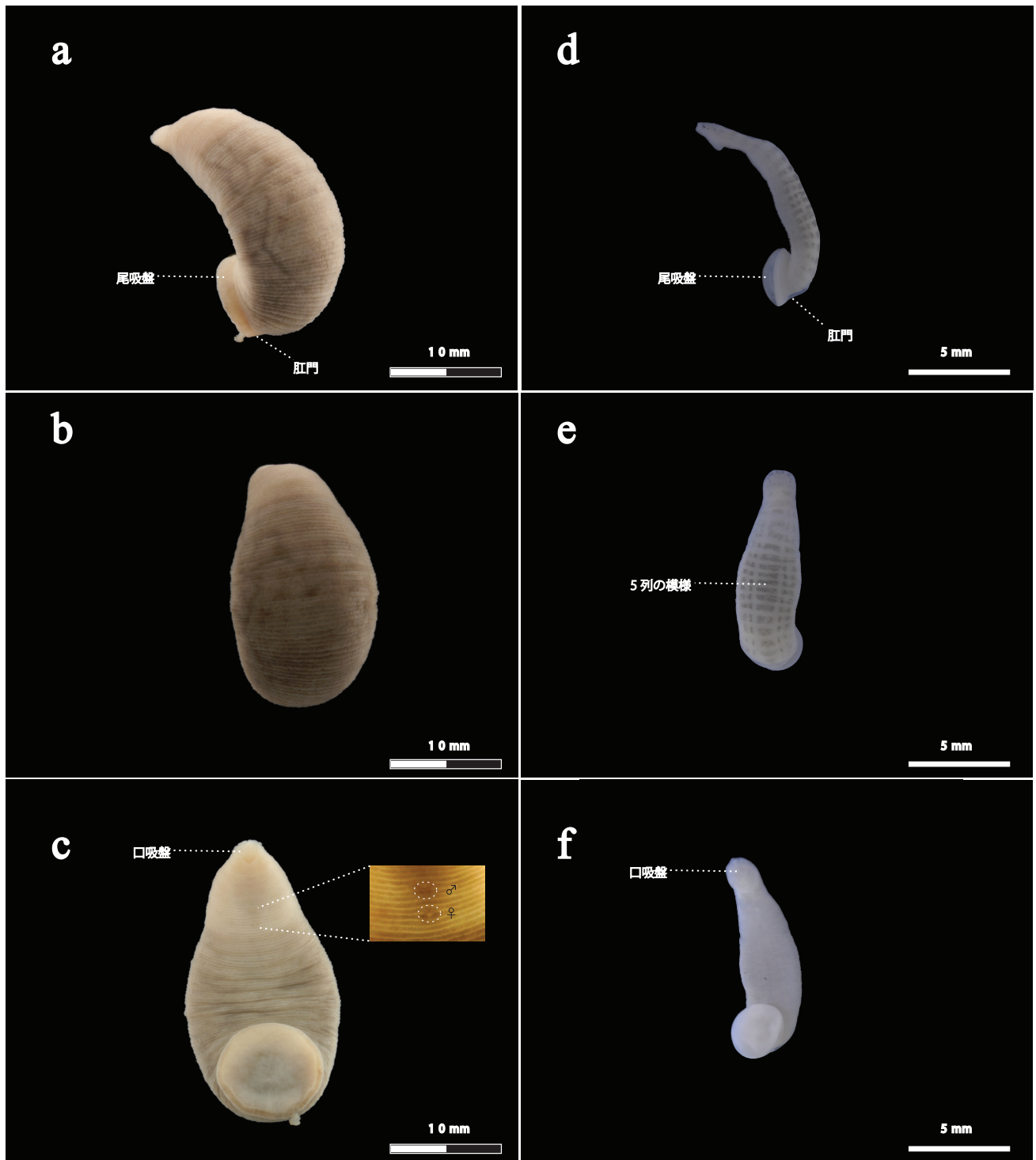


図4 シナノビル *Myxobdella sinanensis* の外部形態
(a: 成体側面. b: 成体背面. c: 成体腹面. d: 幼体側面. e: 幼体背面. f: 幼体腹面)

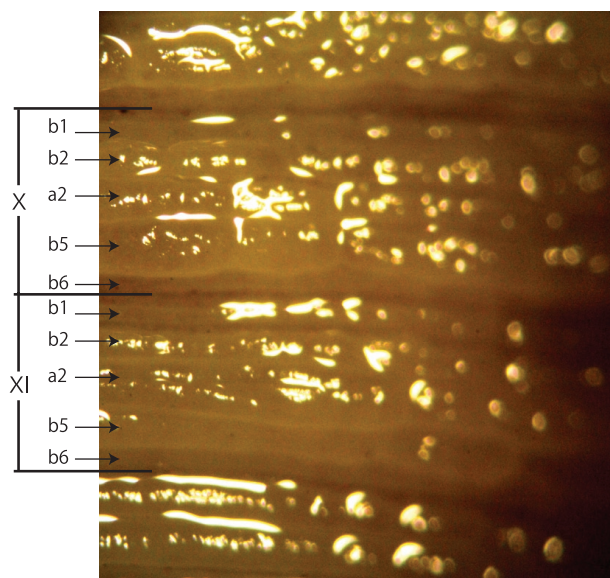


図5 シナノビル *Myxobdella sinanensis* の腹面の拡大写真（ギリシャ数字が体節，アルファベットと数字の組み合わせが体環）

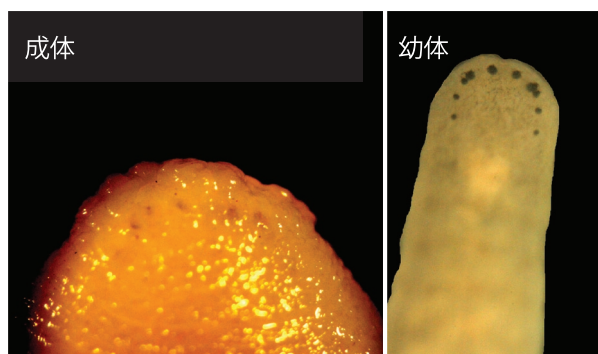


図6 シナノビル *Myxobdella sinanensis* 頭部の拡大写真（眼）

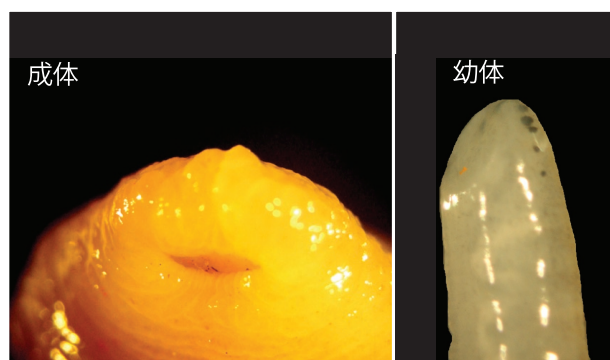


図7 シナノビル *Myxobdella sinanensis* 頭部の拡大写真（口吸盤）

近似種との比較

ネンマクビル科には本種の他に日本からはハナビル *Dinobdella ferox* が知られている。ハナビルには不連続な線状や点状の模様がなく，体環数が108もしくは109本有する点などで見分けることが出来る (Lai and Chen, 2010)。

考 察

本種は Oka (1925) による原記載以降，再記載がおこなわれていない。その理由として中野 (2010) が記しているように，日本におけるヒル類の分類学的研究が1930年以降遅々として進んでいないということが上げられる。また本種の生息場所が山間の源流部のため，見かけるのはやや希（長尾，1965）ということも関係していると思われる。よって，国内における本種の正確な分布は未だ分かっていないのが現状である。そのため，本報告はシナノビルの分布を明らかにする一つの重要な記録といえる。

尚，本種が含まれるネンマクビル科の幾つかの種では幼体が大型哺乳類の鼻腔内や眼結膜などに寄生することが報告されている (Lai and Chen, 2010 ; Estambale et al., 1992)。本採集地点においても約50匹の本種の幼体が著者の手や足下に吸着し，這い上がってきていた。このことから大型哺乳類に対して本種の幼体が寄生生活を行い，宿主によって運ばれて分布域を拡大しているという可能性が考えられる。

今後は本種の生活サイクルと他の分布地を把握できるように調査を実施していきたいと考えている。

謝 辞

本稿を作成するにあたり，高山自然環境調査所の高山壽彦氏，東海大学海洋学部の大貫貴清博士，高見宗広博士，佐藤拓也氏，静岡大学の藤田美沙子氏，NPO 法人静岡県自然史博物館ネットワークの横山謙二氏，石川明子氏にはヒル類の資料収集及び撮影に協力をしていただいた。また，本種の同定方法についてご教授いただいた京都大学動物系統学研究室中野隆文博士にお礼申し上げる。

引用文献

- Estambale, B. B. A., R. Knight and R. Chunge (1992) Haematemesi and Severe anemia due to a pharyngeal leech *Myxobdella africana* in a Kenyan Child: a case report. Trans. Rep. Soc. Trop. Med. Hyg., v. 86 (4), p. 458.
- Nesemann, H. and S. Sharma (2001) Leeches of the suborder Hirudiniformes (Hirudinea: Haemopidae, Haemadipsidae) from the Ganga watershed (Nepal, India: Bihar), Annalen des Naturhistorischen Museums in Wien. Serie B, für Botanik und Zoologie, v. 103, Bd., p. 77-88.
- 伊藤哲也 (2003) III. ヒル綱. 西田 睦・鹿谷法一・諸喜田茂充編：琉球列島の陸水生物，東海大学出版会，秦野，p. 197-202.
- Lai, Y. T. and J. H. Chen (2010) Leech Fauna of Taiwan. National Taiwan University Press, Taipei, p. 60-66.
- 中野隆文 (2010) ヒル類の形態とその用語. タクサ日本動物分類学会誌，29 巻，p. 7-18.
- 長尾 善 (1965) 蛭綱概説. 新日本動物図鑑，上巻，北隆館，東京，p. 564-574.
- 長尾 善 (1967) D. 第4綱 ヒル綱 Hirudinea. 動物系統分類学 6，中山書店，東京，p. 194-241.
- 長尾 善 (1973) ヒル類 HIRUDINEA. 上野益三編：日本淡水生物学，北隆館，東京，p. 356-361.
- Oka, A. (1925) Notices sur les Hirudinées d'Extreme Orient, I-IV. Annotationes Zoologicae Japonenses, 10 (7), p. 311-326.
- Phillips, A. J., R. A. Brown, A. O. Figueroa, G. P. Gomez, M. Beltrán, Y. Lai and M. Siddall (2010) *Tyrannobdella rex* N. Gen. n. sp. and the evolutionary origins of mucosal leech infestations. PLOS ONE, v. 5, p. e10057.